

館山市立博物館分館（渚の博物館）

だいすきな“たてやまのうみ”～まもるためには何ができる？～

実施期間：2026年2月28日（土）～2026年3月31日（火）



活動① さかなクン特別講座



活動② 水産技術員による講座



活動③ 水産技術員による工作体験



活動④ さかなクンギャラリー

©2026 ANAN. . AND Tm.

【事業の内容・目的】

- 館山市立博物館分館（渚の博物館）にある、さかなクン（“渚の駅”たてやま名誉駅長）の世界観を詰め込んだ『さかなクンギャラリー』の令和8年2月28日（土）リニューアルオープンを記念し、さかなクンを講師に迎え、海洋環境保全活動等に関する特別講座を開催した。
- 当施設の水産技術員による、海洋ゴミ・海洋環境問題等に関する講座・マイクロプラスチックを使用した工作体験の実施、海洋環境問題に関する展示内容の充実（さかなクンギャラリー）を図り、館山の海の魅力を伝えるとともに、館山の海のこれからを考える内容とし、“楽しさ”に“学びの要素”をプラスさせた。

当館を訪れた方々の海洋環境保全への関心を高め、次世代に館山の海の恵みを受け継いでいけるよう、各活動の成果についても今後ギャラリー内で紹介することで、ギャラリー全体のブラッシュアップを図り、地域の『海の学び活動拠点』としての機能をより充実させていく。

活動の様子

1. さかなクン特別講座 さかなクンと考えよう！

たてやまの海の魅力とSDGs

【開催日時】2026年2月28日(土) ① 9:30～10:10 / ② 12:30～13:10

【開催場所】館山市立博物館分館(渚の博物館)1F 休憩室

【参加者数】48人(① 24人 / ② 24人)

【活動内容・目的】

- 市内外から訪れた方々に、さかなクンの世界観を通して、館山の海の魅力を伝え、海洋環境問題について関心・理解を深める機会とする。海を身近に感じ、海洋環境問題について、まずは、“自分にできること”から始めるきっかけづくりを行う。
- さかなクン独自の切り口で、館山の海の様子や魚類の生態について、即興イラストを用いた子どもから大人まで訪れた方々にわかりやすい解説を行った。



イラストを描きながら説明する様子



お魚さんについてギョ(ご)説明



参加者の皆さまと集合写真



休憩室(会場) 出入口への掲示

©2026 ANAN. . And Tm.

参加者の皆さまとコミュニケーションを図りながら、さかなクン独自の切り口で館山の海にすむお魚の種類やおいしい食べ方、海を守ることの大切さについて身振り手振りを交えながら楽しく説明し、参加していたお子様も積極的に手を挙げて発言する場面も見られるなど、楽しさと学びを融合した時間を創出することができた。

アンケートに「毒をもつお魚を釣ることがよくあるので、応急処置の方法が分かって良かったです。」との記載もあったことから、広義的に海を守ることの大切さを伝えるとともに、具体的・実践的な海の学びについても共有することができたと考える。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

【参加者の声】

- 海は広く深く、まだまだ知らないことがたくさんあるのだと再認識することができた。
- 磯遊びで見つけた生き物について、もっと調べてみようと思った。
- アイゴをよく釣るので、応急処置の方法がわかって良かったです。
- ギマ（銀馬）ちゃん美味しそうで食べてみたくなった。
- 海を守れるような仕事に就きたい。

2. 海辺の物知り博士(水産技術員)が解説します！！

～みんなでかんがえよう！海ゴミ・海洋環境問題～

【開催日時】2026年3月1日（日）、7日（土）、8日（日）、14日（土）、15日（日）

各日 ① 10:00～10:40 / ② 13:30～14:10

【開催場所】“渚の駅” たてやま 海辺の広場 レクチャールーム

【参加者数】 83人（内訳 12人(3/1)・17人(3/7)・17人(3/8)・22人(3/14)・15人(3/15)）

【活動内容・目的】

- 館山の海を熟知する当市の水産技術員が、現在海が抱える海洋環境問題について、実際の海や海ゴミの様子がわかる写真などを活用しながら解説し、工作体験へ導入することで、イメージがよりリアルになり、参加者の理解も深まった。



水産技術員による解説の様子



参加者に海ゴミを見つけてもらう様子



海ゴミで制作したオブジェの展示
（海辺の広場）



レクチャールーム（会場）出入口への掲示

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

実際の館山の海や海岸のゴミの様子について写真を活用し、視覚的に伝えることで、小さなお子様も理解を深めることができ、積極的に参加・発言をしていた。ウミガメ（産卵場所の減少）やホンビノス貝（外来種）など、参加者の方も見聞きしたことのある身近な生き物を例に挙げることで、海ゴミが海洋環境に与える影響について“自分事”として考えるきっかけにすることができたと考える。

まずは小さなことからでも、自分にできることを見つけ、取り組むことが大切であるというメッセージを参加者の方々へ届けることができた。

【参加者の声】

- ビーチクリーン活動に参加したいと思いました。子供の世代のために、きれいな海を守ってあげたいです。
- ゴミを拾うよりも、出さないようにすることが大切だと学びました。
- この先もずっときれいな海を見ることができるよう、子ども達にも声を掛けていこうと思います。

3. マイクロプラスチックがまるで宝石に！？

キラキラ輝く万華鏡を作ろう☆

【開催日時】2026年3月1日（日）、7日（土）、8日（日）、14日（土）、15日（日）

各日 ① 10:00 ~ 10:40 / ② 13:30~14:10

【開催場所】“渚の駅”たてやま 海辺の広場 レクチャールーム

【参加者数】 83人（内訳 12人(3/1)・17人(3/7)・17人(3/8)・22人(3/14)・15人(3/15)）

【活動内容・目的】

- 会場に用意した模擬砂浜に埋まっているマイクロプラスチックを探し、見つけたマイクロプラスチックを利用して、キラキラ輝く万華鏡を作る。
- 工作体験を取り入れることにより、楽しみながら、問題の原因となるマイクロプラスチック(海ゴミ)・海洋環境問題について考えるきっかけをつくる。



マイクロプラスチックを探す様子



完成した万華鏡☆



完成した万華鏡を見てみよう♪①



完成した万華鏡を見てみよう♪②

活動②の講座から工作体験へ導入することで、「海洋環境問題についてより身近に感じる事ができた。」という感想をいただいた。模擬砂浜を使用し、実際にマイクロプラスチックが埋まっている様子を感じてもらうことで、イメージがよりリアルになり、問題意識の高まりにつながったと考える。

マイクロプラスチックを活用した工作内容は他にも多数あるため、子ども達の夏休みの自由研究等の学びの機会に活かせるアイデアを伝えることにもなり、海ゴミを活用することで、環境保全活動への参加・海の環境保全にもつながっていくと考える。

【参加者の声】

- どんなに細かくなっても分解されないの、捨てては絶対にダメだと感じました。
- 子ども達にきれいな海を残せるように、ゴミを減らそうと思いました。
- ゴミの問題について、日頃から子供と話したり、本で学んだりしていきたいと思いました。

4. SDGs～館山の海のためにできること～

【開催日時】 2026年2月28日（土）～3月31日（火）（事業期間終了日）

※事業期間終了後も、開催を継続します。

【開催場所】 館山市立博物館分館（渚の博物館）1F さかなクンギャラリー

【参加者数】 28,234人

【活動内容・目的】

- 海とともに生きるまち・館山の自然や海の魅力を、さかなクンの視点で紹介する映像を制作・放映し、館山の海について知るとともに、大切な自然（海）を守るために自分たちにできることは何か？考えるきっかけをつくり、次世代に館山の海の恵みをつないでいく。
- “渚の駅” たてやまの名誉駅長を務めるさかなクンの様々な“顔”にフォーカスしたタペストリーを制作し、訪れた方々に、さかなクンが取り組んでいる環境保全活動や地域の漁への参加の様子等に関心をもってもらうことで、海洋環境保全活動（ビーチクリーン活動等）への参加者増加・美しい海の保全へつなげていく。



さかなクングallery全体



海洋環境保全に関するコーナー



館山の魅力ギョ（ご）紹介コーナー



さかなクングallery出入口への掲示

活動②・③の最後に、さかなクングalleryの見学を取り入れることで、各活動の連携・参加者の方々の理解を深めることにつながった。さかなクンの描くイラストや多数の愛用品等から海の魅力について感じた後、この大切な自然（海）を守るためにできる環境保全活動についてヒントを得られる映像等も放映していることから、訪れた方々の海洋教育や海洋環境保全への関心を高めることができ、館山の海の魅力・資源を未来へつなげていく『海の学び活動拠点』としての機能をより充実させることができた。

【参加者の声】

- 海的环境を守っていくことが大切だと学びました。
- きれいな海を後世まで残し続けなければならない。化学会社の一員としてできることを考えなければ。
- （海について）大切にしたい、ゴミを捨てない。

【事業全体のまとめ】

さかなクンギャラリーでは、海洋環境問題に関する映像を放映することで、子どもから大人まで、視覚的に内容を捉え、理解を深められるコーナーを創出することができ、さかなクンの世界観を存分に味わえる“楽しさ”あふれるギャラリーに、大切な海のこれからを考える“学びの場”をプラスすることができた。また、さかなクンによる特別講座においても、海を守るためには何ができるのか？参加者の方々と一体となって考え、問題意識を高めることができた

水産技術員による講座・工作体験では、家族で参加された方々から、「子ども達の世代のためにも、きれいな海を未来につなげていきたい」、「子どもと一緒にビーチクリーン活動に参加したい」という趣旨の感想が多く見られ、海洋環境保全についてより身近に感じてもらうことができた。今後、海洋ゴミを利用したワークショップのバリエーションを増やし、多方面（学校・観光）に向け、随時開催するなど、行政としての役割を存分に生かし、「海の学び活動拠点」としての機能をより充実させていきたい。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 事業実施期間中の連携・協力先 無	事業実施期間中の連携・協力内容 無

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 朝日新聞	すっぎょくハッピー 館山のギャラリーリニューアル 令和8年3月1日（日）
2. 読売新聞	多彩さかなクン アジわう 館山「ギャラリー」刷新 令和8年3月2日（月）
3. 千葉日報	「さかなクンギャラリー」一新 渚の駅たてやま「ぜいたくな海」紹介 令和8年3月3日（火）
4. 房日新聞	「さかなクンギャラリー」刷新 名誉駅長務める渚の駅たてやま 令和8年3月4日（水）
5. 朝日小学生新聞	来て 見て お魚を五（ギョ）感で感じて 「さかなクンギャラリー」（千葉・館山）リニューアルオープン 令和8年3月6日（金）
6. 館山市広報だん暖たてやま	・令和8年3月19日（木）
7. 館山市 HP、館山市公式各 SNS（X・LINE 等）	・HP（3/11 更新）、X（2/26 投稿）LINE（2/27 配信）

以上